

「大阪を変える100人会議」×「民都・大阪」フィランソロピー会議
障がい者は事業承継の救世主!?
伝統産業の未来を「福祉」と考える共創分科会

平成31年 3 月
NPO法人チュラキューブ

伝統産業の事業は「障がい者福祉」が承継する!?

現状のままでは…

農/漁/林/製造業は 分岐点に直面している

- ・「需要の低迷が原因で、後継者を雇えない」**45.8%**。（京都市/2016年）
- ・日本の**農業**人口の**60歳以上が80%**。
職業別15歳以上就業者、**農林漁業約4%**（IT業界35%）（平成27年国勢調査）
- ・**シンギュラリティ**（技術的特異点）が訪れるとされる**2045年**に向けて、人間の仕事がロボットや人工知能に奪われてゆくのではないか。

障がい者福祉を活用すると…

技術と雇用の継続こそが 持続可能の唯一のカギ

- ・障がい者雇用には「**1/2雇用**」など働き方にバリエーションがあり、また、**下請けの仕組み**も多種多様。
- ・農業の継承のための「**農福連携**」には、コクヨ・パナソニックなどの大企業も参入している。
- ・2016年度から**京都市は伝統工芸**の工程保存に、障がい者雇用による「**伝福連携**」を掲げている。

9～2月までの府内での見学ツアーを実施

9～2月までの府内での見学ツアーを実施

9
月

GIVE&GIFT

福祉施設：都心型の福祉



淀屋橋のオフィス街に全国でも珍しく福祉施設を立ち上げ、障がい者への給与を倍増させたカフェの取り組みの現場を見学する。2016年度グッドデザイン賞を受賞。また、2月までの説明会の概要も参加者と共有した。

9～2月までの府内での見学ツアーを実施

10
月

株式会社ナカニ 染め：堺の「注染和晒」



堺市中区から全国区に飛び出した「注染（ちゅうせん）和晒（わざらし）」ブランド「にじゆら」を展開する先駆け的存在。伝統的な手法の中の下請け業務を、福祉にどう切り分けるかなど、ヒントを得られた。

9～2月までの府内での見学ツアーを実施

11
月

J A大阪市 営農センター 農業：大阪市内の農業



生産緑地法の規制撤廃により、2022年には全国の農地の2～3割が消滅するといわれている農業。J A大阪市が取り組む、市内の農家の継ぎ手の減少の対応策としての収穫・脱穀・育苗などの業務切り分けを学んだ。

9～2月までの府内での見学ツアーを実施

2
月

大阪府住宅供給公社

不動産業：大阪の空き家対策



2033年には3軒に1軒が空き家になるといわれている日本において、障がい者福祉と連携した空き家対策をはじめた公社。泉北ニュータウンの茶山台団地の空き部屋キッチン、ニコイチなど、注目の取り組みを見学した。